

2024年3月31日

2023年度事業完了報告書  
～三重県多気町における「子ども第三の居場所」  
コミュニティモデルの開設と運営と車両整備(1年目)～

一般社団法人医食同源みえ

## 1. 事業目的

### (1) 本事業の目的

医食同源みえは、社会的弱者である貧困家庭の小学校低学年の子ども達に食事、生活習慣、学習習慣のケアを行うことで、「生きる力」を育むことを目的とする。そのために「子ども第三の居場所」を開設・運営する。運営については行政、NPO、町民、企業の方々と協力し、「誰一人取り残さない地域子育てコミュニティ」をつくる。

### (2) 期待される波及効果

この活動が活動拠点となる西外城田保育園(休園中)から地域に喧伝されることで、貧困家庭における子育てが「他人事」ではなく、「みんなが、みんなの子どもを育てる社会」を目指す。

## 2. 事業計画

### (1) 三重県多気町における「子ども第三の居場所」コミュニティモデルの開設

- ① 物件現況: 保育園(築27年)
- ② 所有形態: 公有財産使用許可(土地使用料免除、水光熱費実費徴収予定)
- ③ 内容: 木工事、電気工事、空調設備工事、設備配管工事、サイン工事、車両整備など
- ④ 施設名称: 子ども第三の居場所(仮)
- ⑤ 面積: 建物延床面積 611 m<sup>2</sup>、敷地面積 4,122 m<sup>2</sup>、
- ⑥ 構造: 木造
- ⑦ 施設概要: 食事・交流・学習スペース、キッチン、お風呂、相談室など

### (2) 三重県多気町における「子ども第三の居場所」コミュニティモデルの運営

- ① 期間: 2024年1月～2024年3月(週5日、14時から19時まで開所)
- ② 場所: 三重県多気郡多気町
- ③ 対象: 15名(家庭や自身に課題を抱えた小中高生)
- ④ 内容: 子どもとの1対1の関係を重視しながら、子どもたちの生活習慣形成や学ぶ意欲向上を支援することで社会的相続を補完する。学習支援、フリースクール、子ども食堂を通じた食育、イベント等体験の機会を提供する。また、地域交流を目的としたコミュニティカフェを行う。

基軸事業: 学習サポート、フリースクール、子ども食堂、食育・料理育

発展事業: コミュニティカフェ、地域連携イベント、フードバンク連携、若者の就労サポート

### 3. 事業実施内容(実績)

#### (1)三重県多気町における「子ども第三の居場所」コミュニティモデルの開設

①物件状況:改修後引き渡し済み・・2023年12月13日

②所有形態:公有財産使用

③工事完了、車両配備済み(2024年1月19日)

④施設名称:子ども第三の居場所ここふる

⑤面積:変更なし

⑥構造:木造

⑦施設概要:食堂・プレイルーム・教室 1・2・調理室・お風呂・シャワー室・相談室・デイルーム・スタッフルーム

#### (2)三重県多気町における「子ども第三の居場所」コミュニティモデルの運営

2023年7月28日に住民説明会、2024年2月3日に開所式・内覧会を実施。

①期間:2024年2月～3月(週5日・10時から19時まで開所)

②場所:三重県多気郡多気町

③対象:現在10名ほど(家庭や自身に課題を抱えた小学生を含む)

④内容:子どもと向き合いながら苦手な部分を見つけ、生きていく力を育成していく。遊びを通じて関係性を構築する。学習支援は一人一人に合わせたレベルを提供している。

イベント体験は計画し来年度4月に実施予定。

社協のイベントを居場所で行い「子ども食堂」の周知を行った。

基軸事業・発展事業については計画中。

(子どもとお年寄りのためのマルシェ・ふれあい動物園・就労事業所との子ども食堂等) 駄菓子屋・かえっこバザールなどの地域とのつながりを生む取り組みを常設。

#### (3)事業内容詳細

・対象児童数は3月末は10名ほど。その中には家庭環境やひとり親世帯も含む。生活動作が苦手な児童もいて、ドアの開閉や鉛筆の持ち方などに苦手さを持っている。「家にいるより、一人でも通いたい」と話す女兒や、行動や言動に乱暴さが見られる男児もいる。

ひとりひとりに向き合って、過ごしやすい環境を整え、課題や苦手の克服ができていくような声かけや支援を実施。

トラブル時には、その活動を止めてみんなに話をし、どう思ったかを投げかけて解決に導く。

・イベント体験として、動物園のふれあい会を予定し、普段通っている児童以外にも周知をしていく予定。

・社協のイベントとして2月10日に「こども食堂講座」を実施。民生児童委員、地域の住民など参加し、ワークショップ形式で行った。

・基軸事業・学習サポートについては放課後の居場所で開催。各自に合わせた段階での学習支援を元教員等で実施。

・子ども食堂・料理教室については、年度が替わり新学期に落ち着いたところに計画実施を予定。子どもたちが主となりメニューなどを決めていく。

- ・ 発展事業・地域連携イベントとして、「子どもとお年寄りのマルシェ(仮称)」を予定。以前行っていた地域の運動会のようなイベントを計画中。
- ・ コミュニティカフェ・子ども食堂について、一緒にやってみたいという就労事業所からの問い合わせをいただき、検討中。



↑ 開所式の様子



↑ かえっこバザールの様子



子どもたちに  
安心な居場所を、  
食料提供だけでなく  
つながりを持って  
子ども食堂に

# こども しょくどうこうざ

2/10 (土) 13:30~15:30



<対馬 あせみ氏>

【NPO法人 太極の家庭学校】  
三原市で初の子ども食堂を運営。子ども食堂、学校のカフェ、10代の無料カフェ、学習支援など、子ども達が安心して過ごせて様々な体験ができる居場所を毎月開催。

【講演】  
こども食堂とは？  
子ども達の置かれる現状こども食堂が広がる背景  
県内のこども食堂、いろんな形の子どもの居場所  
こども食堂の作り方

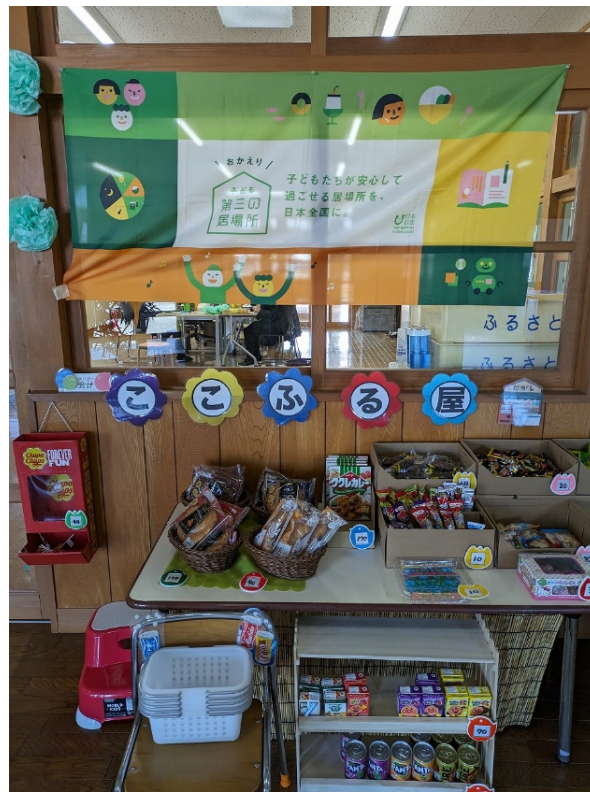
【グループ交流】  
みんなで話そう！  
自分の地域にどんな居場所があると良い？

**対象**  
「子ども食堂をはじめたい」  
「子ども食堂ってなに？」など  
**子ども食堂に興味がある方はどなたでも参加できます**

**参加費：無料 定員：30名**

申込み・問合せ  
多気町社会福祉協議会（四正田587-1）  
0598-38-8090  
t-syakyo@ma.mctv.ne.jp

**会場**  
子ども第三の居場所  
**ここふる**  
（旧西外城田保育園）



↑「子ども食堂の勉強会」の実施  
(社会福祉協議会との連携)

↑ 駄菓子屋の様子

以上